

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成22年度採択課題）

中間評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
22-3	非破壊検査のための非接触音響探査法についての研究開発	桐蔭横浜大学 教授 杉本 恒美	B

<研究の概要>

強い音響振動を発生する長距離音響発生装置と高感度のスキヤニング振動計を組み合わせた非接触音響探査法により、トンネル覆工や橋梁、その他構造物のコンクリート劣化部の非接触・非破壊検査システムを開発する。

<中間評価結果>

検査精度の見極め及び実用化に向けた課題抽出は順調に行われており、研究は概ね順調に推移している。しかし、実構造物、実現象、実検査環境での実証は限定的で、充実させる必要がある。実務への活用を念頭においた調査手法の確立に向けて、指摘事項に留意しながら、現行のとおり推進することが妥当と評価する。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. コンクリート構造物内部の欠陥を検出することは緊急を要する課題である。遠距離用強力音源の製作を含め、実用化に向けて一層の研究推進を期待する。
2. 実用化に向けて、実際の欠陥に対して適用性を検討することを期待する。特に、実地調査実験が重要であり、臨場感を持って研究を進めていただきたい。
3. 最終取りまとめでは、トンネルなどの実構造物での点検実施を念頭に、たたき点検など既存手法との比較から、手引などの実務者が使いやすい形で適用範囲や限界・課題の整理をお願いしたい。